

航空貨物用

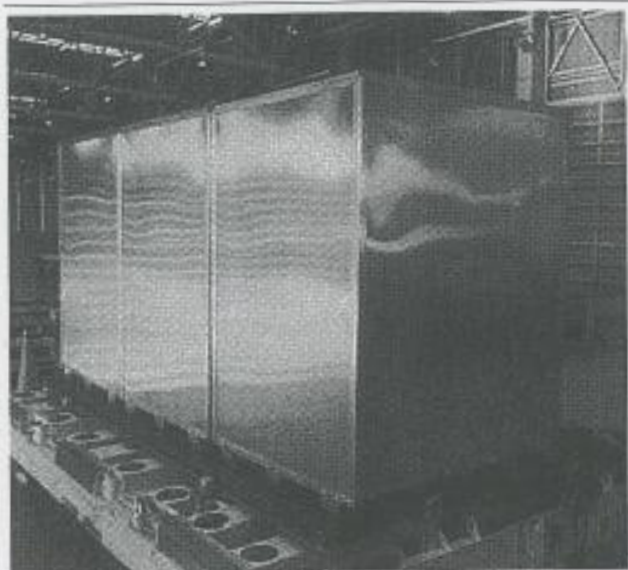
## 小型コンテナ発表

エイエルパレット 積載率を向上

アルミニウム製パレットメーカーのエイエルパレットトシャパン(嘉悦伸浩社長、東京都千代田区)は6日、超軽量タイプの航空貨物用

小型コンテナ(ボックス型パレット)の販売を開始した、と発表した。日本国内で、初年度1万個の販売を見込む。

国際規格に準拠した1・2



再生可能なアルミ利用で環境負荷軽減

0.75×1.00mサイズを採用しながら、パレット重量は23%と、従来型のボックスパレットの約半分程度。

ULD(貨物搭載器具)および機材への積載率向上や航空輸送コスト削減、梱包資材費用圧縮を実現する。また、ボックスをアルミで囲うことで、輸送セキュリティ

ティーも強化。再生可能なアルミの利用から、環境負荷軽減にもつながる。

同商品は、ことし2月から3月にかけて国土交通省が実施した「小型コンテナを活用した中部国際空港の国際物流機能拡充調査」で採用されたモデル。日本の販売代理店6社を通して、電子部品メーカーや精密機器、医療機器メーカーなどの荷主企業および物流会社に向けて販売していく。

(大沢 瑛美子)